

理科授業改善推進プラン

1 学力効果測定結果

- ・過去3年間の結果は、全学年目標値をおおよそ下回る結果となっている。どの年度も特に第5学年の結果が目標値から離れている。
- ・昨年度に比べ、第6学年（第5学年時の学習内容）の知識・技能の定着が十分ではないが、昨年度からの伸びをみると全観点で上昇が見られる。
- ・第5学年の調査内容は、第4学年時に学習した内容であるため、第4学年の学習内容の定着度が特に十分でないことがうかがえる。
- ・学年ごとに育成が求められる問題解決の力は、第3学年：問題を見いだす（つくる）力、第4学年：根拠のある予想や仮説を発想する力、第5学年：解決方法を発想する力、第6学年：妥当な考えを作り出す力であることを踏まえ、問題解決の力の育成目指し、まずは知識・技能をきちんと定着させる必要がある。

2 児童の実態及び学習効果測定の結果分析（課題）

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な用語が十分に身に付いていない。例えば、「葉・茎・根」、「頭、胸、腹」などである。 ・実験や観察を通して得た結果から、考察すること、新たな問題を設定することが苦手な傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験は意欲的に取り組むが、自然の事物・現象について説明することは難しい。 ・理科に関連する基本的な用語を覚えていない。 ・既習の学習を活用して考えることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察には意欲的に取り組むが、その後に、知識として定着させることが不十分である。 ・グラフや表を活用したり、読み取ったりすることが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察には意欲的に取り組むが、調べる目的に応じた条件制御の判断が苦手である。基本的用語・結果についての理解が身に付いていない。 ・グラフや表を活用したり、読み取ったりすることが不十分である。

3 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・技能			<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の徹底活用 ・実験や観察を通して得た経験と、習得すべき知識とを結び付けて学べるようにする。具体的には、実験・観察後のまとめを行う際には、十分に時間をとる、教科書や映像教材を活用し得た経験を確かな知識としていくなどに取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験から分かったことを声に出させることで知識の定着をはかる。 ・体験的な学習を通して、空気、水及び金属の性質、電流の働きについての理解を図る。 ・実験だけでは理解しづらい結果については、電子黒板で動画を見せるなどして補足する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の徹底活用 ・教科書をもとに実験結果をノートにまとめたり、教科書の資料から必要な情報を読み取ったりする活動を増やす。 ・理解の度合いを確かめることができるように、学習プリントを活用し、知識の定着をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の徹底活用 ・実験では、考え方である比較、関係付け、条件制御、多面的思考することの意味をよく考えさせて実験し、実験の経過を大切にしたり、キーワードを使ったりしながら自分の言葉で考察をまとめられるようにする。 ・単元の終わりには、用語やまとめを再度確認する。
思考・判断・表現			<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察を通して分かったことを日常生活に当てはめて考える学習活動を設定し、そこから差異点や共通点を見いだし、新たな問題を見出す力を養うことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験などで、分かったことと自然の事物・現象とを結び付けて説明できるようにする。 ・話し合いの場を設け、ある現象が起きた理由について明確に説明する機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察を行った後に、実験の過程や結果、考察を児童にとって分かりやすい資料を提示する。また、考えを交流する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験では、まず、見たことをそのまま記録する週間を付け、そこから考察を進めるようにする。 ・どのようにしたら正確な結果が得られるかをグループ学習を通じて、定着しやすくする。
主体的に学習に取り組む態度			<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題と学習内容を結び付け、学習に取り組む目的をもてるようにする。 ・学習を振り返る際、相手に説明したり、自分の理解度を振り返ったりする学習活動を設定し、自分自身の学びを自覚できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の学習と結び付けて、そこから新たにどんな変化があるのかという問いをすることで児童らの興味・関心を高める。 ・実生活との関連を意識させ、主体性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットでの調べ学習の機会を設け、関心をもったことを進んで学習することができるようにする。 ・学習の過程で、自分の考えを伝えあったり、理解度を振り返ったり、学習感想を書いたりできる機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活との関連を意識させ、関心・意欲を高める。 ・学習の過程で、自分の考えを伝えあったり、理解度を振り返ったり、学習感想を書いたりできるようにする。

※太枠内は、特に重視する内容